とよおか

平成29年度
第8号

日光市立
豊岡中学校

日光市芹沼
1958番地
0288-21-8215
発行責任者
校長　上吉原明夫

「教える授業」から「学ぶ授業」へ



現在の中学3年生が大学受験の時から、入試内容や方法が大幅に変わります。これまで知識さえあれば解けた入試問題が、知識だけでは解けないものとなります。それに伴い、高校の授業が、そして中学校の授業が、当然小学校の授業も変わってきます。そうは書きましたが、入試制度が変わるために、授業が変わるのではありません。今社会で求められている資質や能力が変わってきているためです。

戦後経済成長まっただ中だった時代、多くの知識や技能をもっていれば十分な時代でした。新しく何かを創り出す人間は、ほんのひと握りいればよかったのです。しかしこれからの時代、得た知識・技能はすぐに古いものとなってしまいます。常に新しい知識や技能を自ら得る力や意欲、持っている知識から新しいものを創り出すための思考力、他との議論からよりよいものを創り出していくためのコミュニケーション能力などが重要となってきています。

これまでの学校は、教師が生徒に対して知識や技能を教える授業が中心でした(もちろんすべてそれではないですが)。これからは、生徒自らが学ぶ授業が中心となってきます。教師が出した課題、または生徒自らが設定した課題に対して、調べ学習や実験などを通して、生徒自らが答えを導き出していく。その過程の中で、生徒同士が議論をし、自分の考えを修正・発展させていく。そういう授業の中で、求められる資質・能力が育っていくと考えます。



本校でも昨年から、そのような授業をめざして、研究授業や授業研究を行っています。ぜひご家庭でも、すぐに答えを与えず、子ども自らが苦労して答えを導き出していくような機会を与えてあげてください。

人権について考える　人権週間

12月上旬の人権週間の中で、12月7日に人権講演会を開催しました。講師は田螺踊理（たにしおどり）さん。本名は田中政男さんといって、宇都宮市内の小学校の校長先生だった方です。演題は「笑いで語る人権教育～落語・漫談を通して～」でした。

人権創作落語「長老ばなし」では、大きな水槽で長いこと生き延びている長老のタイに対して、若い魚たちが長寿の秘訣を聞く。その中で、「国籍や生誕による差別」「性別による差別」「人種差別」などの話が、何気なく盛り込まれていました。

その他人権に関する漫談や手話の話など、笑いの中に、人権について深く考えさせられる講演会でした。



来年の生徒会は…：生徒会役員選挙

12月12日に生徒会役員選挙と、それに伴う立会演説会がありました。今年生徒会役員に立候補してくれた生徒は、何と12名。立候補者が少ない中学校が多い中、多くの生徒が意欲を見せてくれました。



生徒会役員選挙立会演説会

演説内容は、「豊中三大行事のさらなる活性化」や「あいさつ運動の活発化」など、これまでの活動の継承、発展。

さらに、「他学年との交流」や「地域の方々との交流」等の新しい取り組みなど、盛りだくさんです。立候補したみなさんのやる気があふれる演説会でした。その中で、「先輩の活動の様子にあこがれて」という演説も多くありました。先輩のよき姿が後輩に引き継がれ、それがよき伝統になっていく。豊中生徒会の明るい未来が見える気がします。

新役員のみなさん、平成30年の豊中生徒会をよろしくお願いします。そして残念ながら役員になれなかったみなさん、みなさんの意欲はすばらしいです。豊中には活躍の場はまだまだあります。今後に期待しています。

生徒会新役員のみなさん

生徒会長	R. Hさん(2年)
〃副会長	R. Nさん(2年)
〃副会長	F. Iさん(1年)
〃書　記	H. Kさん(2年)
〃書　記	S. Tさん(1年)
〃会　計	N. Oさん(2年)
〃会　計	M. Aさん(1年)

自分に自信をもって！キャリア教育講演会



キャリア教育というのをご存じですか。お父さんお母さんの時代にはなかったものです。簡単に言ってしまうと、「これからのキャリアの中で、職業人、家庭人、地域人など、いろいろな役割が出てくる。その役割を、人との関わりの中で、自分らしく果たしていく能力や態度を育成していくのがキャリア教育である。」ということになります。ちょっと難しいですが、最近重要な教育であると言われています。本校でも今年度何度か、キャリア教育だより」を発行いたしました。ぜひご覧になってください。

11月28日に、キャリア教育の一環として、講演会を開催しました。講師は栃木サッカークラブ取締役（前社長）の水沼富美男様にお願いしました。「ちょっと先の自分の将来を思い描いて高校に進んでほしい。」「世の中にいらない人はいない。必ず役割がある。」「今の会社は学歴で人を選んではいない。能力を見ている。何を学んできたか、何を考えてきたかが大切。」「『なんとかなる』ではなく『なんとかする』という思いが大事。」など、中学生にとって今後の人生にプラスになる話を、たくさんいただきました。生徒たちもいろいろ考えながら、講演を聞いていたようです。そのときの生徒の感想を左上に載せておきます。

生徒の感想から

どんな人でも役に立たない人はいないという話が、一番印象に残りました。私は特別なことは何もできないけど、何か役に立つことがあるのかなと思うと少しうれしいです。（1年女子）

高校や大学はどこに行くかではなく、何を学ぶかが大切だということがわかりました。そして人は成績よりも、人としての質が大切だということもわかりました。（1年男子）

僕たちがこれから社会に出るために、高校や大学でどんなことを勉強したいのか、どんな目標を持って努力し我慢するのかなど、未来に希望を持って生きていくことが大事なことだということがわかりました。（2年男子）

私はすぐに「なんとかなるだろう」と思ってしまいます。講演を聞き、それはいけないことだと気づきました。今後はやると決めたらすぐに実行したいと思います。（3年女子）

冬も豊中生躍動！各種大会コンクール

今年の12月は冷え込みが厳しいです。厳冬の中、多くの各種大会やコンクールがあり、豊中生たちが躍動しました。

２日に県北地区アンサンブルコンテストがありました。吹奏楽部から３グループが参加し、打楽器三重奏が金賞、木管八重奏と金管五重奏が銀賞という好成績を収めました。

同じ２日に下野杯サッカー大会が行われ、サッカー部が出場しました。初戦で本郷中と対戦し、０対２で残念ながら敗れてしまいました。



日光市駅伝大会スタート

９日には県ソフトテニス大会の１年生の部が行われ、K．NペアがK，TペアがK，Tペアが３位という成績を収めました。

17日には日光市駅伝大会が行われました。寒風吹きすさぶ中、６名の生徒たちはすばらしい走りと粘りを見せ、見事４位に入賞しました。

入学楽しみに待ってます！新入生説明会

12月５日に、来年度本校に入学する小学６年のみなさんと保護者の方々を対象に、新入生説明会を開催しました。

中学校入学後のよりよい人間関係づくりの布石として、今年度は２回交流の場をもちました。１回目は豊中祭での合同合唱、そして２回目が、今回の説明会における人間関係づくりのゲームです。

生徒会役員による学校説明の後、全員でゲームをしました。初めは緊張した面持ちでしたが、慣れてくると、各小学校入り乱れての楽しいひとときとなりました。入学を楽しみに待ってます。



生徒会による説明



仲間づくりのためのゲーム

児童館訪問　３年家庭科

９月20日と12月20日の２回、３年生が２班に分かれて、豊岡児童館にて「幼児とのふれあい体験」を行いました。これは家庭科の授業の一環で、幼児の発達の状況に応じた関わり方を学習するものです。

最初は戸惑っていた３年生ですが、自由闊達な園児たちに影響され、終わりの頃にはいっしょに楽しそうに遊んでいました。

豊岡児童館の先生方そして園児のみなさん、ありがとうございました。



今年度本校の目指すもの 「人間関係構築力の育成」自尊感情の高揚」学力の向上」